

# 平成26年度子育て支援研修会 子育て支援にかたろう 開催要綱

## 1 目的

子どもにとって「食」は、生命維持や、健やかな心と身体の発育・発達において欠かせないものです。しかしながら、近年、栄養素摂取の偏りや朝食の欠食、また、「孤食」や「個食」と言われるさまざまな「こ食」など、問題は多様化、深刻化しており、「食べる」ことや「いのち」への関心、さらに、適切な食習慣の形成を育む食を通じた子どもの健全育成、いわゆる「食育」に大きな期待が寄せられています。

本研修会では、子どもを取り巻く「食」の現状を認識するとともに、家庭、地域をはじめ、関連する機関が連携した「食育」の重要性について学ぶことを目的に開催します。

## 2 主催

社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会

## 3 協賛

株式会社 NTTドコモ

(NPO法人 モバイル・コミュニケーション・ファンド)

## 4 日時

平成27年3月2日(月) 10時30分から15時30分まで

## 5 会場

九州ビル 9階大ホール

福岡市博多区博多駅南1-8-31

## 6 対象者

子育て支援に関わる方(子育てサロン・サークル等)

民生委員児童委員・主任児童委員

子育て支援関係者(市町村子育て支援担当課、市区町村社協、保育士、NPO)

子育て中の方

その他子育て支援に関心のある方

## 7 定 員

150名

## 8 内 容

9:45            10:40                            12:10            13:00                            15:30

受付	開 会	講演	休憩	グループワーク	閉 会
----	--------	----	----	---------	--------

10:30

(1) 開 会 (10:30～10:40)

(2) 講 演 (10:40～12:10)

講 師 相模女子大学 栄養科学部 健康栄養学科 教授 堤 ちはる 氏

演 題 「子どもを取り巻く食の現状

～食を通して育つもの、育てたいもの～」

### 【内容】

近年、子どもの「食」をめぐるのは、健やかな心と身体の発達において重要な時期にありながら、栄養素の偏りや朝食の欠食、また、さまざまな「こ食」など、問題が多様化、深刻化しています。

そこで、子どもを取り巻く「食」の環境やそれが及ぼす影響を理解するとともに、子育て支援者、家庭、地域が一体となった食育の重要性について講演いただきます。

### 【講師プロフィール】

相模女子大学栄養科学部健康栄養学科教授。青山学院大学、日本社会事業大学、神奈川県立保健福祉大学大学院兼任講師。

日本女子大学大学院家政学研究科食物・栄養学専攻修士課程修了、東京大学大学院医学系研究科保健学専門課程修士・博士課程修了。保健学博士、管理栄養士。

青葉学園短期大学助教授、日本子ども家庭総合研究所母子保健研究部栄養担当部長を経て現職。主に、子どもと保護者の食生活・栄養を研究テーマとし、著書も多数。「保育所における食事の提供ガイドライン作成検討会」座長（2011～2012）。

(3) 休 憩 (12:10～13:00)

(4) グループワーク (13:00~15:30)

テーマ「家庭と地域が連携した食育の推進」

コーディネーター

相模女子大学 栄養科学部 健康栄養学科 教授 堤 ちはる 氏

【内容】

講演内容をもとに、子育て支援者として、家庭や地域と連携した食育を推進するために大切な視点や、具体的な取り組みについて考察します。また、グループ内で活動事例などを共有し、参加者相互のネットワークの構築を図ります。

(5) 閉 会 (15:30)

9 参加費

無 料

10 申込方法

別紙「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、下記あて郵送またはFAXで申込みください。申込みは、平成27年2月23日(月)までにお願いします。

11 その他

(1) 託児をご希望の場合は、「参加申込書」に必要事項を記入ください。

申込者多数の場合、お断りさせていただくことがあります。

(2) 昼食については各自で準備をお願いします。

(3) 当日は、主催者による駐車場の確保はできません。

12 個人情報の取り扱いについて

「申込書」に記載された個人情報は、本研修会の運営管理の目的のみに利用させていただきます。

13 問い合わせ・申込先

福岡県社会福祉協議会 地域福祉部 地域課 担当 大畠

〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階

TEL 092-584-3377 FAX 092-584-3369

14 会場案内図



JR博多駅筑紫口より徒歩5分

